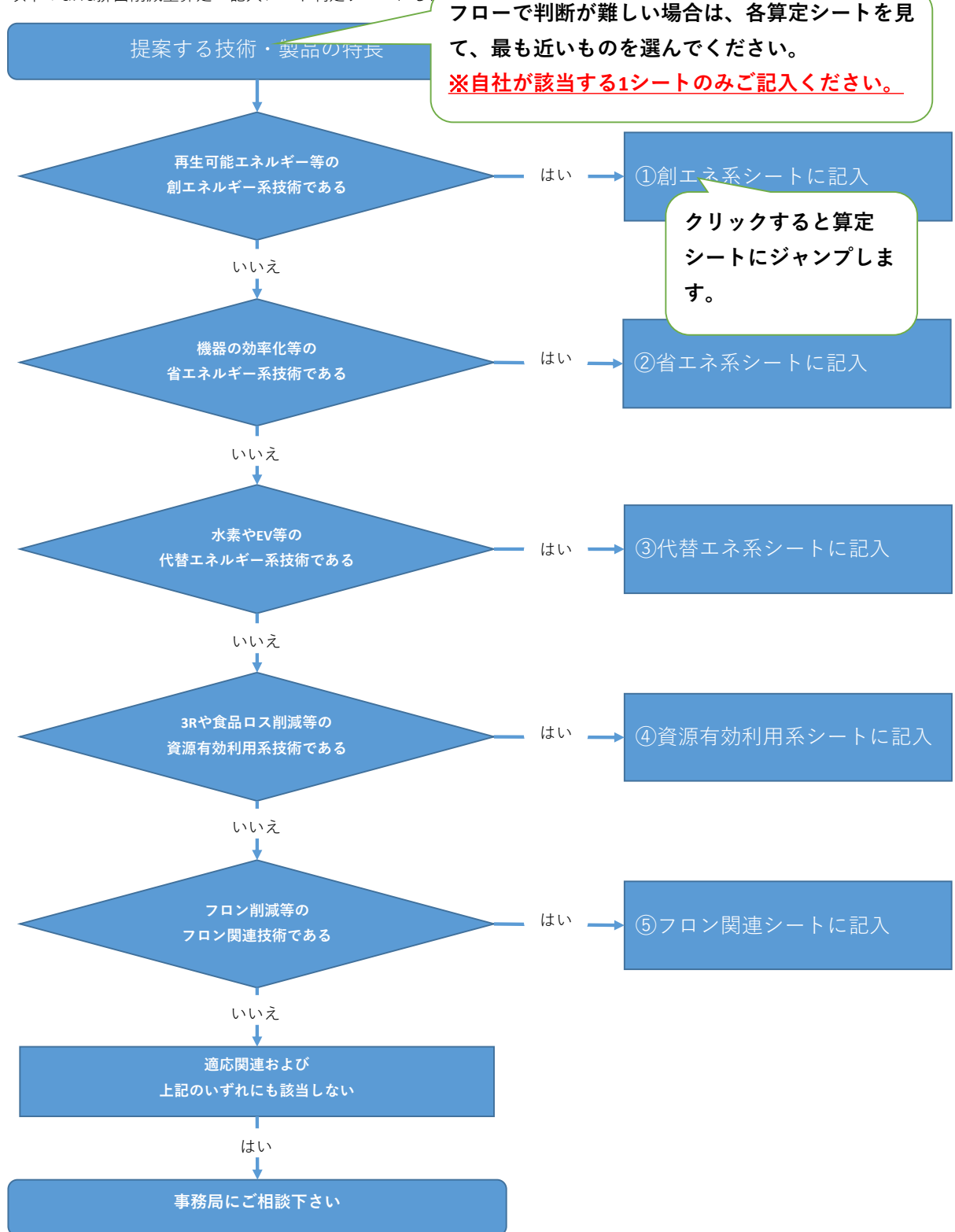


申請者名	株式会社〇〇イノベーション
事業名	産業用高効率インバーターの開発

以下のGHG排出削減量算定・記入シート判定フローにしたがってください。



排出削減量算定シート(①創エネ系)

申請書別紙6 ⑥売上見込の市場投入3年間の合計額	2,000	百万円
--------------------------	-------	-----

※提案する技術・製品に応じて電力・熱を選択して記入してください  
※提案する技術・製品の内容に応じて本算定シートを適宜改変すること

太陽光発電設備の事例

電力関連	値	単位	
上記の技術・製品の発電容量	1,000	kW	
年間稼働率	25%		率の算定根拠を別添にて提出すること
発電電力量	2,190,000	kW	
排出係数	0.000453	t-CO <sub>2</sub> /kWh	出所：電気事業者別排出係数(R4.1.7環境省・経済産業省公表の代替値)
排出削減量(年間)	992	t-CO <sub>2</sub> /年	
上記の技術・製品の法定耐用年数	15	年	減価償却資産の耐用年数等について東京都HP*
排出削減量(ライフサイクル)	14,881	t-CO <sub>2</sub> /ライフサイクル	

黄色のセルへ記入

設備の設備容量や  
想定する稼働率を記入

こちらのHP等を参考  
に耐用年数を記入

\* [https://www.tax.metro.tokyo.lg.jp/shisan/info/taiyo\\_nensu.html](https://www.tax.metro.tokyo.lg.jp/shisan/info/taiyo_nensu.html)

バイオマス熱利用設備の事例

熱関連	値	単位	備考
上記の技術・製品により削減される燃料・熱の種別	都市ガス		プルダウンメニューから最も近い燃料・熱を選択すること
削減される燃料・熱の数量(年間)	15,000	1,000Nm <sup>3</sup>	削減される燃料・熱の算定根拠を別添にて提出すること
燃料種別発熱量	44.8	GJ/1,000Nm <sup>3</sup>	出所：算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧
燃料種別排出係数	0.050	t-CO <sub>2</sub> /GJ	出所：算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧
排出削減量(年間)	33,510		
上記の技術・製品の法定耐用年数	15	年	減価償却資産の耐用年数等について東京都HP*等を参照し記入すること
排出削減量(ライフサイクル)	502,656	t-CO <sub>2</sub> /ライフサイクル	

削減される燃料の種別と  
その量を記入

こちらのHP等を参考  
に耐用年数を記入

\* [https://www.tax.metro.tokyo.lg.jp/shisan/info/taiyo\\_nensu.html](https://www.tax.metro.tokyo.lg.jp/shisan/info/taiyo_nensu.html)

排出削減量算定シート(②省エネ系)

申請書別紙6 ⑥売上見込の市場投入3年間の合計額	2,000	百万円
--------------------------	-------	-----

	記入	自動計算	規定値
--	----	------	-----

※提案する技術・製品に応じて電力・熱を選択して記入してください。

※提案する技術・製品の内容に応じて本算定シートを適宜改変することも可能です。

LED照明等の省エネ機器の事例

電力関連	値	単位	備考
上記の技術・製品の消費電力量(年間)	20,000,000	kWh	消費電力量の算定根拠を別添にて提出すること
従来型の技術・製品の消費電力量	30,000,000	kWh	消費電力量の算定根拠を別添にて提出すること
上記の技術・製品による省エネ量	10,000,000	kWh	
排出係数	0.000453	t-CO2/kWh	出所：電気事業者別排出係数(R4.1.7環境省・経済産業省公表の代替値)
排出削減量(年間)	4,530	t-CO2/年	
上記の技術・製品の法定耐用年数	15	年	減価償却資産の耐用年数を参照し記入すること
排出削減量(ライフサイクル)	67,950	t-CO2/ライフサイクル	

\* [https://www.tax.metro.tokyo.lg.jp/shisan/info/taiyo\\_nensu.html](https://www.tax.metro.tokyo.lg.jp/shisan/info/taiyo_nensu.html)

高効率ボイラー等の省エネ機器の事例

熱関連	値	単位	備考
上記の技術・製品に使う燃料	都市ガス		プルダウンメニューから最も近い燃料・熱を選択すること
上記の技術・製品の消費燃料	10,000	1,000Nm3	消費燃料・熱量の算定根拠を別添にて提出すること
従来型の技術・製品の消費燃料	15,000	1,000Nm3	消費燃料・熱量の算定根拠を別添にて提出すること
上記の技術・製品による省エネ量	5,000	1,000Nm3	
燃料種別発熱量	44.8	GJ/1,000Nm3	出所：算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧
燃料種別排出係数	0.050	t-CO2/GJ	出所：算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧
排出削減量(年間)	11,170		
上記の技術・製品の法定耐用年数	15	年	減価償却資産の耐用年数を参照し記入すること
排出削減量(ライフサイクル)	167,552	t-CO2/ライフサイクル	

\* [https://www.tax.metro.tokyo.lg.jp/shisan/info/taiyo\\_nensu.html](https://www.tax.metro.tokyo.lg.jp/shisan/info/taiyo_nensu.html)

排出削減量算定シート(③代替エネ系)

申請書別紙6 ⑥売上見込の市場投入3年間の合計額	2,000	百万円
--------------------------	-------	-----

	記入	自動計算	規定値
--	----	------	-----

※提案する技術・製品に応じて電気自動車・水素を選択して記入してください。 **電気自動車の事例**

※提案する技術・製品の内容に応じて本算定シートを適宜改変することも可能です。

電気自動車関連	値	単位	備考
上記の技術・製品による走行距離(年間)	10,000,000	km	算定根拠を別添にて提出すること
上記の技術・製品の電費	8	km/kWh	根拠を別添にて提出すること
上記の技術・製品の消費電力量(年間)	1,250,000	kWh	
電力単価	25	円/kWh	電力単価の設定根拠を別添にて提出すること
従来型の技術・製品が使う燃料	ガソリン		プルダウンメニューから最も近い燃料・熱を選択すること
従来型の技術・製品の燃費	25	km/l	燃料の設定根拠を別添にて提出すること
燃料単価	150	円/l	燃料単価の設定根拠を別添にて提出すること
従来型の技術・製品による走行距離(年間)	5,208,333	km	
上記の技術・製品により増加した走行距離(年間)	4,791,667	km	
上記の技術・製品により代替された燃料量(年間)	192	kl	
燃料種別発熱量	34.6	GJ/1,000Nm3	出所：算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧
燃料種別排出係数	0.067	t-CO2/GJ	出所：算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧
排出削減量(年間)	445		
上記の技術・製品の法定耐用年数	15	年	※東京都HP*等を参照し記入すること
排出削減量(ライフサイクル)	6,675	t-CO2/ライフサイクル	

\* [https://www.tax.metro.tokyo.lg.jp/shisan/info/taiyo\\_nensu.html](https://www.tax.metro.tokyo.lg.jp/shisan/info/taiyo_nensu.html)

再エネ利用型水電解装置の事例

水素関連	値	単位	備考
上記の技術・製品により代替する燃料・熱の種別	都市ガス		最も近い燃料・熱を選択すること
上記の技術・製品による水素製造量(年間)	1,000,000	Nm3	水素製造量の算定根拠を別添にて提出すること
水素の単位	Nm3		設備による水素製造量、単位を記入
水素の熱量原単位	12.8	MJ/Nm3	
水素の熱量(年間)	12,800	GJ	消費燃料・熱量の算定根拠を別添にて提出すること
上記の技術・製品により代替された燃料・熱量(年間)	286	1,000Nm3	
燃料種別発熱量	44.8	GJ/1,000Nm3	出所：算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧
燃料種別排出係数	0.050	t-CO2/GJ	出所：算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧
排出削減量(年間)	638		
上記の技術・製品の法定耐用年数	15	年	減価償却資産*等を参照し記入すること
排出削減量(ライフサイクル)	9,574	t-CO2/ライフサイクル	

\* [https://www.tax.metro.tokyo.lg.jp/shisan/info/taiyo\\_nensu.html](https://www.tax.metro.tokyo.lg.jp/shisan/info/taiyo_nensu.html)

排出削減量算定シート(④資源有効利用系)

申請書別紙6 ⑥売上見込の市場投入3年間の合計額	2,000	百万円
--------------------------	-------	-----

※排出削減量は下記のとおり算定いたします。	フードロス削減サービスの事例	記入	自動計算	規定値
-----------------------	----------------	----	------	-----

技術・製品に製造している業種等を記入	値	単位	備
上記の技術・製品に製造する「主たる業種」	食料品製造業	-	募集要項 補足2 日本産業分類表を参照し、最も近い業種区分を選択すること
上記の技術・製品に製造する「製造が回避された製品の販売金額を記入」	製造業	-	募集要項 補足2 日本産業分類表を参照し、最も近い業種区分を選択すること
上記の技術・製品の法定耐用年数	3,000	百万円	金額の算定根拠を参照し記入すること
	15	年	減価償却資産の耐用年数を参照し記入すること

製造が抑制される製品を製造している業種等を記入

フードロス削減サービスの事例

記入 自動計算 規定値

黄色のセルへ記入

製造が回避された製品の販売金額を記入

こちらのHP等を参考に耐用年数を記入

\* [https://www.tax.metro.tokyo.lg.jp/shisan/info/taiyo\\_nensu.html](https://www.tax.metro.tokyo.lg.jp/shisan/info/taiyo_nensu.html)

排出削減量算定シート(⑤フロン関連)

申請書別紙6 ⑥売上見込の市場投入3年間の合計額	2,000	百万円
--------------------------	-------	-----

※提案する技術・製品の内容に応じて本算定シートを適宜改変することも可能

フロン関連	値	単位	備考
上記の技術・製品が対象とする排出活動	ハイドロフルオロカーボンの製造		下表(「ハイドロフルオロカーボン (HFC)」)
対応する単位生産量等当たりの排出量(排出係数)	0.0049	tHFC/tHFC	下表(「ハイドロフルオロカーボン (HFC)」)から妥当なものを選択すること
上記の技術・製品により削減されるフロンの種別	HFC-32		下表(「(参考2) 地球温暖化係数」)から妥当なものを選択すること
選択したフロンの排出	対象となる排出活動・同排出係数、対象フロン種別・同排出係数、削減係数を記入	675	tCO2/tHFC
対応する排出活動の生		20,000	tHFC/tHFC
上記の技術・製品により削減される単位生産量等当たりの排出量(削減係数)		0.001	tHFC/tHFC
上記の技術・製品により削減されるフロン量		20	tHFC/tHFC
排出削減量(年間)		13,500	t-CO2/年
上記の技術・製品の法定耐用年数		15	年
排出削減量(ライフサイクル)		202,500	t-CO2/ライフサイクル

ハイドロフルオロカーボン製造からの漏洩削減技術の事例

記入	自動計算	規定値
----	------	-----

黄色のセルへ記入

こちらのHP等を参考して東京都HP\*等を参照し記入すること  
に耐用年数を記入

\* [https://www.tax.metro.tokyo.lg.jp/shisan/info/taiyo\\_nensu.html](https://www.tax.metro.tokyo.lg.jp/shisan/info/taiyo_nensu.html)

## ハイドロフルオロカーボン（HFC）

対象となる排出活動	算定方法	単位生産量等当たりの排出量（排出係数）		
		区分	単位	値
クロロジフルオロメタン(HCFC-22)の製造	HCFC-22製造量×単位製造量当たりのHFC-23生成量－回収・適正処理量	—	tHFC-23/ tHCFC-22	0.019
ハイドロフルオロカーボン(HFC)の製造	製造量×単位製造量当たりの排出量	—	tHFC/tHFC	0.0049
家庭用電気冷蔵庫等HFC封入製品の製造におけるHFCの封入	(製品種ごとに)製造時の使用量×単位使用量当たりの排出量	家庭用電気冷蔵庫	tHFC/tHFC	0.00050
		家庭用エアコンディショナー	tHFC/tHFC	0.0019
		業務用冷凍空調機器（自動販売機を除く。）	tHFC/tHFC	0.0020
	(製品種ごとに)製造台数×単位台数当たりの排出量	自動販売機	tHFC/台	0.00000065
		自動車用エアコンディショナー	tHFC/台	0.0000025
業務用冷凍空調機器の使用開始におけるHFCの封入	機器使用開始時の使用量×単位使用量当たりの排出量	業務用冷凍空調機器（自動販売機を除く。）	tHFC/tHFC	0.017
業務用冷凍空調機器の整備におけるHFCの回収及び封入	回収時残存量－回収・適正処理量＋再封入時使用量×単位使用量当たりの排出量	業務用冷凍空調機器（自動販売機を除く。）	tHFC/tHFC	0.010
	回収時残存量－回収・適正処理量＋再封入台数×単位台数当たりの排出量	自動販売機	tHFC/台	0.0000011
家庭用電気冷蔵庫等HFC封入製品の廃棄におけるHFCの回収	(製品種ごとに)回収時残存量－回収・適正処理量	家庭用電気冷蔵庫	—	—
		家庭用エアコンディショナー	—	—
		業務用冷凍空調機器（自動販売機を除く。）	—	—
		自動販売機	—	—
プラスチック製造における発泡剤としてのHFCの使用	(製品種ごとに)製造時の使用量×単位使用量当たりの排出量	ポリエチレンフォーム	—	—
		押出法ポリスチレンフォーム	tHFC/tHFC	0.25
		ウレタンフォーム	tHFC/tHFC	0.10
噴霧器及び消火剤の製造におけるHFCの封入	製品製造時の使用量×単位使用量当たりの排出量	噴霧器	tHFC/tHFC	0.028
		消火剤	tHFC/tHFC	0.000020
噴霧器の使用	製品の使用に伴う排出量	—	—	—
半導体素子等の加工工程でのドライエッチング等におけるHFCの使用	使用量×単位使用量当たりの排出量－回収・適正処理量	—	tHFC/tHFC	0.30
溶剤等の用途へのHFCの使用	使用量－回収・適正処理量	—	—	—

【根拠条文】政令第7条第1項第5号及び別表第10、算定省令第6条

## (参考2)地球温暖化係数

温室効果ガス			地球温暖化係数
1	二酸化炭素	CO <sub>2</sub>	1
2	メタン	CH <sub>4</sub>	25
3	一酸化二窒素	N <sub>2</sub> O	298
4	ハイドロフルオロカーボン	HFC	—
	トリフルオロメタン	HFC-23	14,800
	ジフルオロメタン	HFC-32	675
	フルオロメタン	HFC-41	92
	1・1・1・2・2-ペンタフルオロエタン	HFC-125	3,500
	1・1・2・2-テトラフルオロエタン	HFC-134	1,100
	1・1・1・2-テトラフルオロエタン	HFC-134a	1,430
	1・1・2-トリフルオロエタン	HFC-143	353
	1・1・1-トリフルオロエタン	HFC-143a	4,470
	1・2-ジフルオロエタン	HFC-152	53
	1・1-ジフルオロエタン	HFC-152a	124
	フルオロエタン	HFC-161	12
	1・1・1・2・3・3・3-ヘプタフルオロプロパン	HFC-227ea	3,220
	1・1・1・3・3・3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-236fa	9,810
	1・1・1・2・3・3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-236ea	1,370
	1・1・1・2・2・3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-236cb	1,340
	1・1・2・2・3-ペンタフルオロプロパン	HFC-245ca	693
	1・1・1・3・3-ペンタフルオロプロパン	HFC-245fa	1,030
	1・1・1・3・3-ペンタフルオロブタン	HFC-365mfc	794
	1・1・1・2・3・4・4・5・5・5-デカフルオロペンタン	HFC-43-10mee	1,640